
【プレゼンテーション資料】

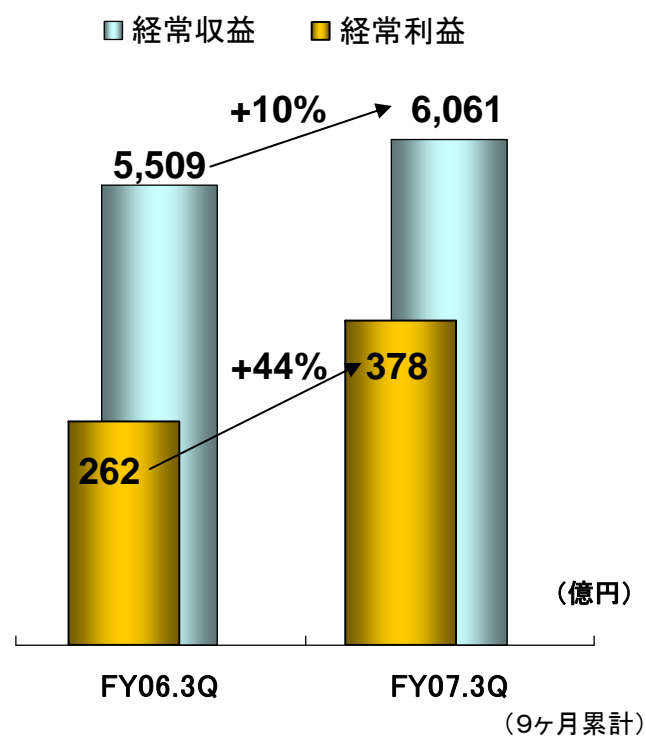
2007年度第3四半期 連結業績のご説明

ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社
2008年2月15日

免責事項:

このプレゼンテーション資料に記載されている、当社グループの現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しです。将来の業績に関する見通しは、将来の営業活動や業績、出来事・状況などに関する説明における「確信」、「期待」、「計画」、「戦略」、「見込み」、「予測」、「予想」、「可能性」やその類義語を用いたものに限定されません。口頭または書面による見通し情報は、現在入手可能な情報から得られた当社グループの経営者の判断にもとづいています。実際の業績は、様々なリスクや不確実な要素により、これら業績見通しと大きく異なる結果となりうるため、これら業績見通しに依拠することは控えるようお願いします。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社グループが将来の見通しを見直すとは限りません。また、このプレゼンテーション資料は日本国内外を問わず一切の投資勧誘またはそれに類する行為のために作成されたものではありません。

連結業績ハイライト

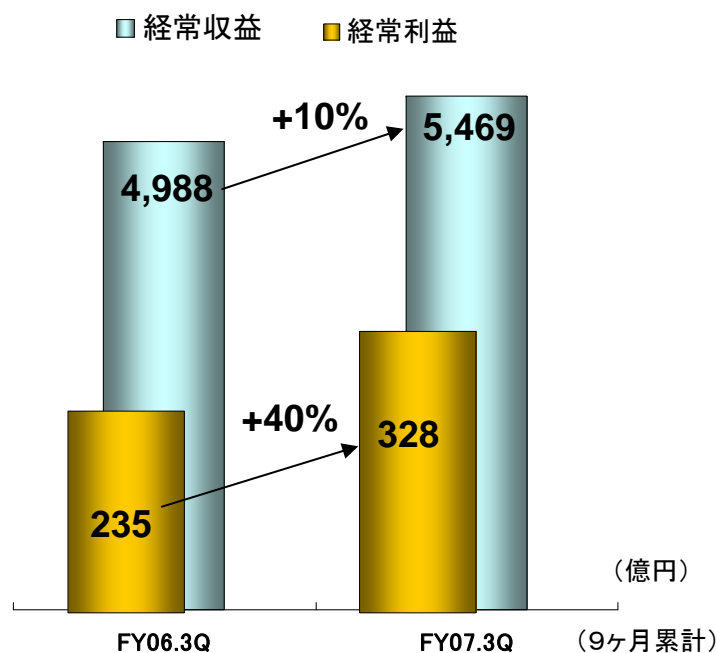


	(億円)	FY06.3Q	FY07.3Q	前年同期比	
		(9ヶ月累計)	(9ヶ月累計)		
生命保険事業	経常収益	4,991	5,471	+480	+10%
	経常利益	235	327	+92	+39%
損害保険事業	経常収益	382	416	+34	+9%
	経常利益	18	30	+12	+67%
銀行事業	経常収益	144	181	+37	+26%
	経常利益	8	18	+10	+118%
全社又は消去	経常収益	▲7	▲7	+0	-
	経常利益	0	1	+0	+202%
SFHG連結	経常収益	5,509	6,061	+551	+10%
	経常利益	262	378	+115	+44%

金額は単位未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

- 生命保険事業では、保有契約高・新契約高（個人保険＋個人年金保険）ともに堅調に推移。一般勘定の資産運用収益が増加したこともあり、経常収益、経常利益ともに増加
- 損害保険事業では、自動車保険を中心に契約件数が順調に増加し、正味収入保険料が増加。損害率、事業費率ともに改善し、経常収益、経常利益ともに増加
- 銀行事業では、業容の順調な拡大にともなって資金運用収益などが増加し、経常収益、経常利益ともに増加
- 連結ベースの経常収益は、前年同期比10%増の6,061億円。経常利益は、前年同期比115億円増加(+44%)の378億円。四半期純利益は、前年同期比66億円増加(+41%)の227億円

ソニー生命 業績ハイライト(単体)



【ソニー生命】

- ◆ 前年同期比 増収増益
- ◆ 新契約高は前年同期比10%増加
- ◆ 保有契約高の堅調推移により保険料等収入が増加
- ◆ 一般勘定の資産運用収益が増加
- ◆ 基礎利益は198億円
- ◆ 解約・失効率は前年同期比0.27pt上昇の4.61%

(億円)	FY06.3Q (9ヶ月累計)	FY07.3Q (9ヶ月累計)	前年同期比	
			増減額	増減率
経常収益	4,988	5,469	+481	+10%
保険料等収入	4,429	4,797	+367	+8%
資産運用収益	533	637	+104	+20%
経常費用	4,753	5,141	+387	+8%
保険金等支払金	1,587	1,794	+206	+13%
責任準備金等繰入額	2,416	2,357	▲58	▲2%
資産運用費用	43	219	+176	+406%
事業費	632	693	+60	+10%
経常利益	235	328	+93	+40%
四半期純利益	143	181	+37	+26%
基礎利益	186	198	+12	+7%
有価証券残高	21,922	24,194	+2,272	+10%
責任準備金残高	29,808	33,246	+3,437	+12%
純資産額	2,128	2,138	+10	+0%
総資産額	33,254	37,103	+3,849	+12%

注) 上記数値は単体ベース。

金額は億円未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

ソニー生命 主要業績指標(単体)



(単位:億円)

	2006年度第3四半期 (9ヶ月累計)	2007年度第3四半期 (9ヶ月累計)	増減率
保有契約高*1	300,278	312,550	+ 4.1%
保有契約年換算保険料*1	4,976	5,246	+ 5.4%
うち第三分野	1,158	1,220	+ 5.3%
解約・失効率*1,*2	4.34%	4.61%	+ 0.27pt
新契約高*1	26,373	29,109	+ 10.4%
新契約年換算保険料*1	492	483	▲1.8%
うち第三分野	109	103	▲5.7%
保険料等収入	4,429	4,797	+ 8.3%
資産運用損益	489	417	▲14.6%
基礎利益	186	198	+ 6.8%

*1) 保有契約高、保有契約年換算保険料、解約・失効率、新契約高、新契約年換算保険料は、個人保険と個人年金保険の合計です。

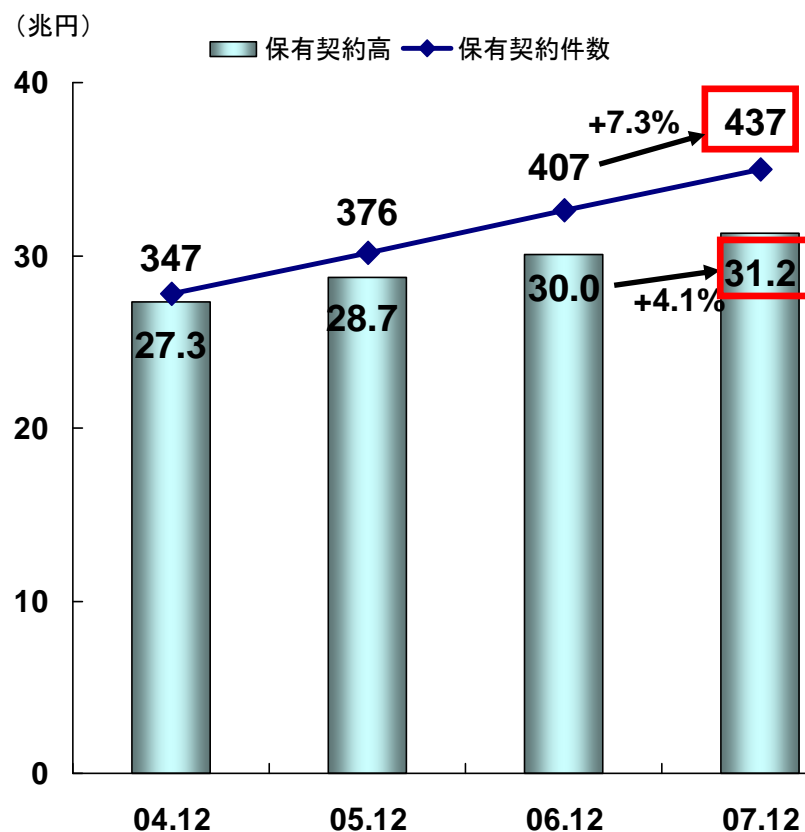
*2) 解約・失効率は、復活契約を失効と相殺せずに算出しています。

金額は億円未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

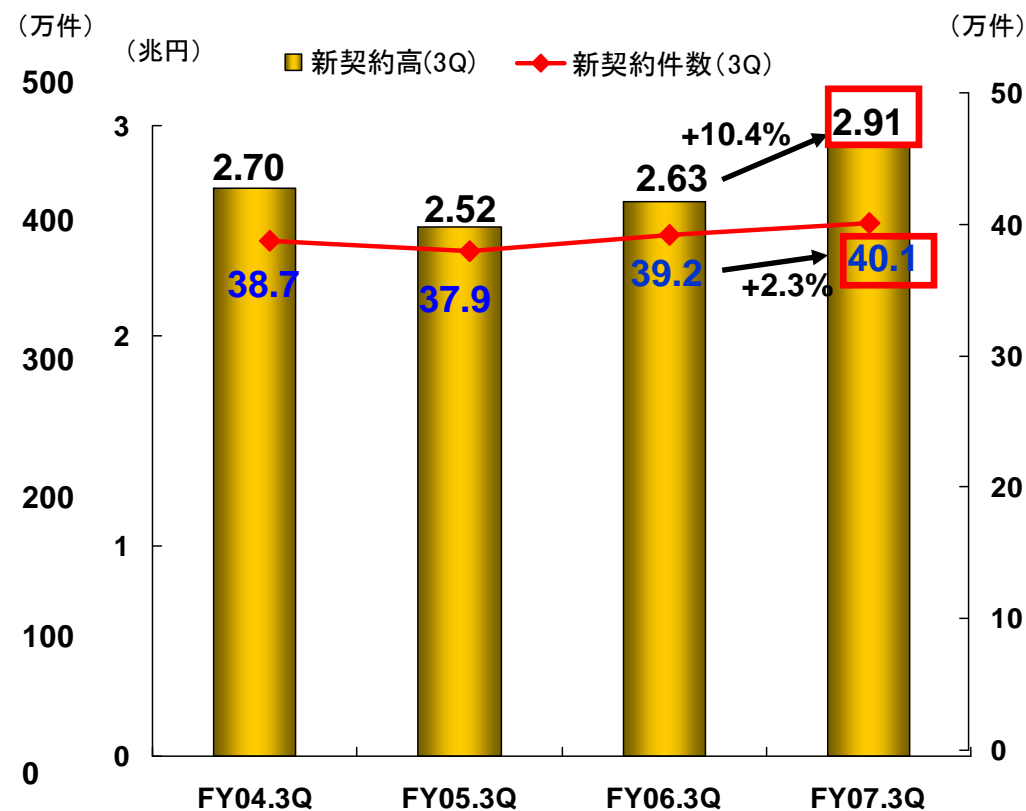
ソニー生命の業績(1)



保有契約高(個人保険+個人年金保険)



新契約高(個人保険+個人年金保険)

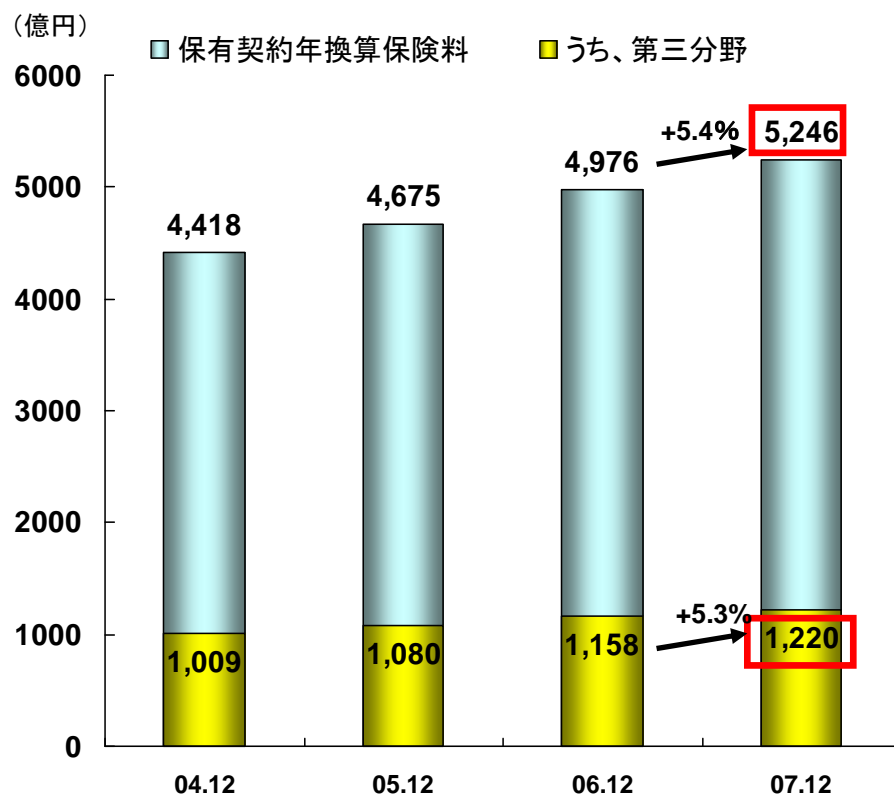


(9ヶ月累計)

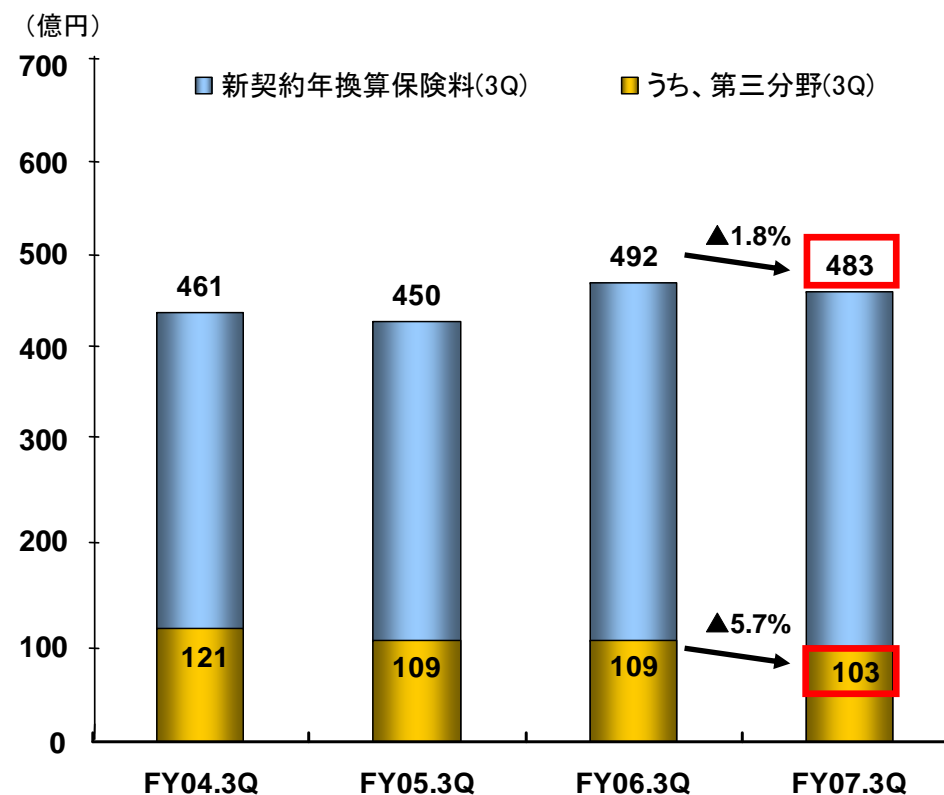
金額は千億円又は百億円未満切捨て、件数は万件又は千件未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

ソニー生命の業績(2)

保有契約年換算保険料(個人保険+個人年金保険)



新契約年換算保険料(個人保険+個人年金保険)

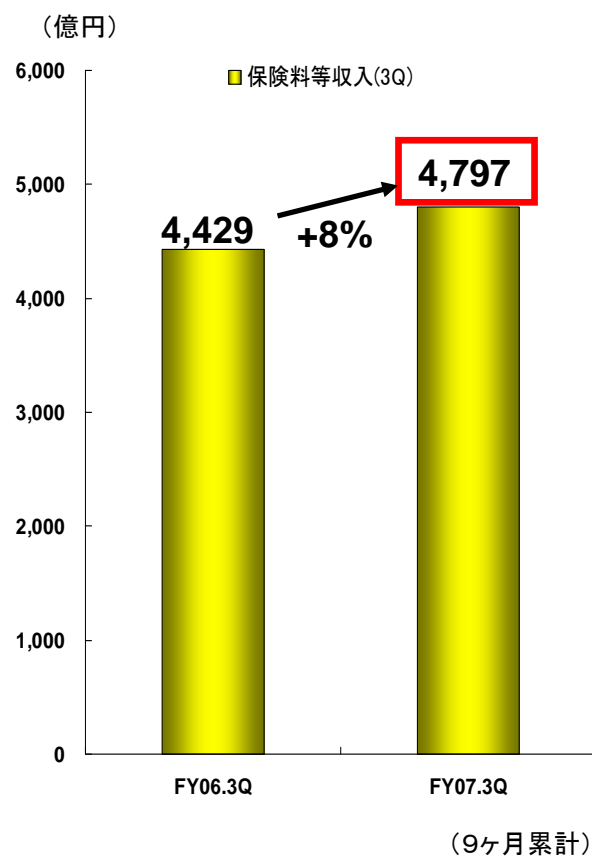


(9ヶ月累計)

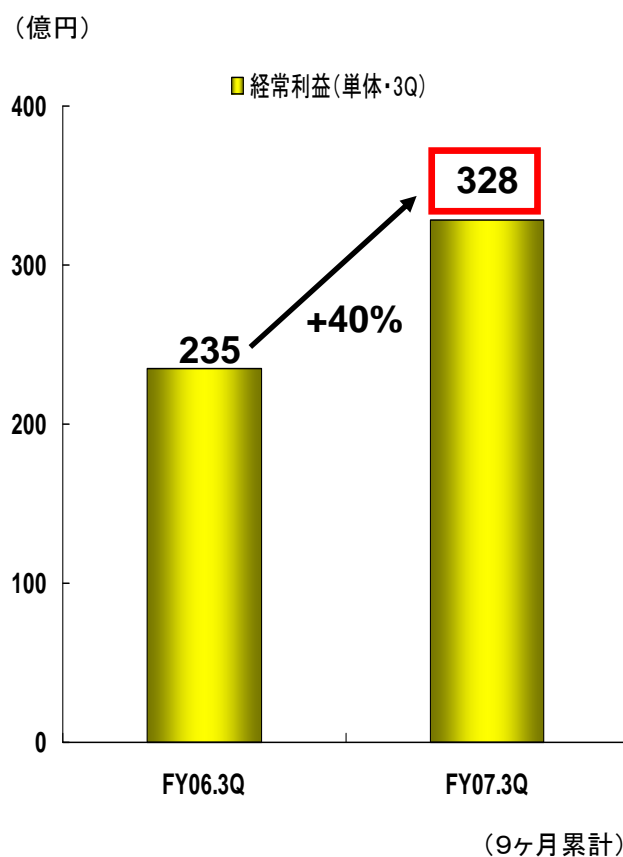
金額は億円未満切捨て

ソニー生命の業績(3)

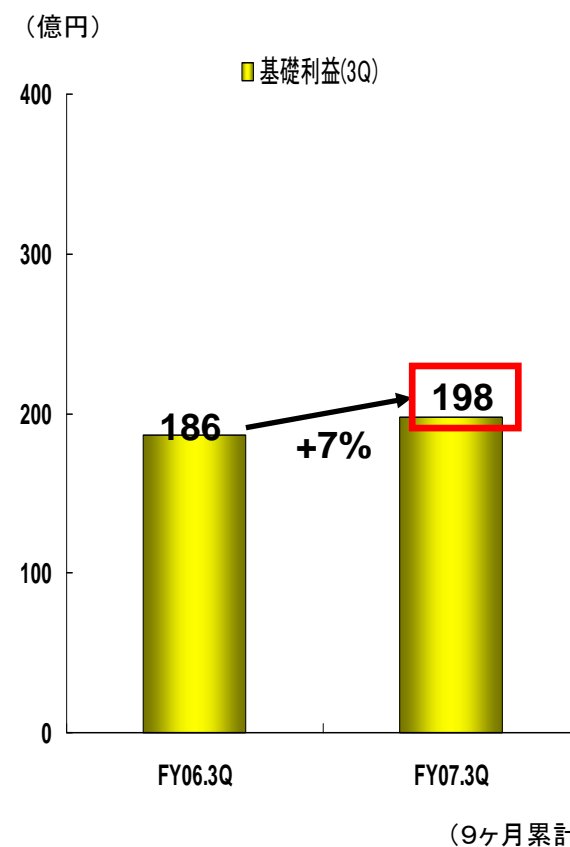
保険料等収入



経常利益(単体)



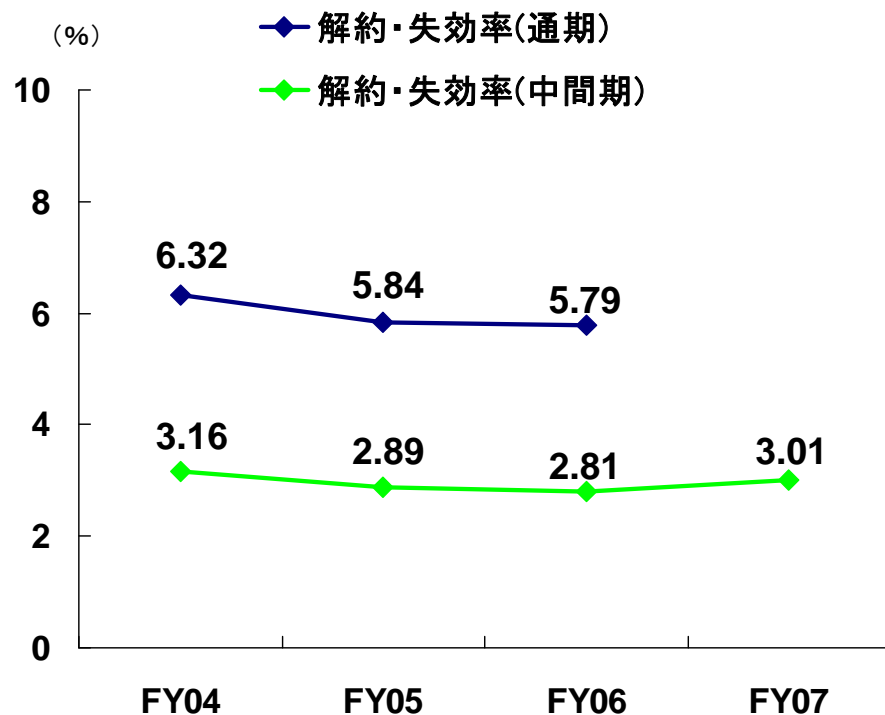
基礎利益



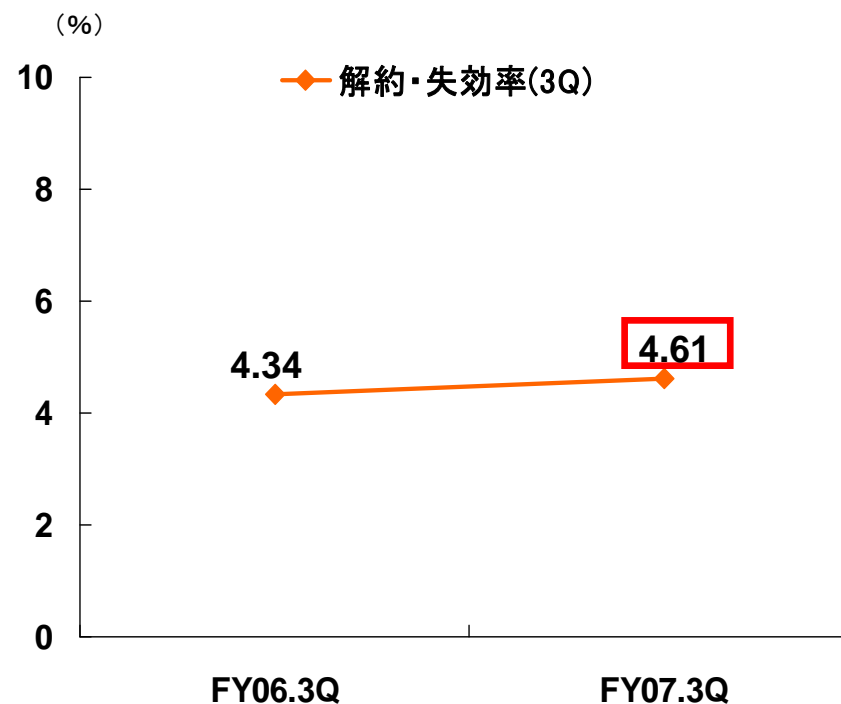
金額は億円未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

ソニー生命の業績(4)

解約・失効率* (個人保険+個人年金保険)
＜通期・中間期＞



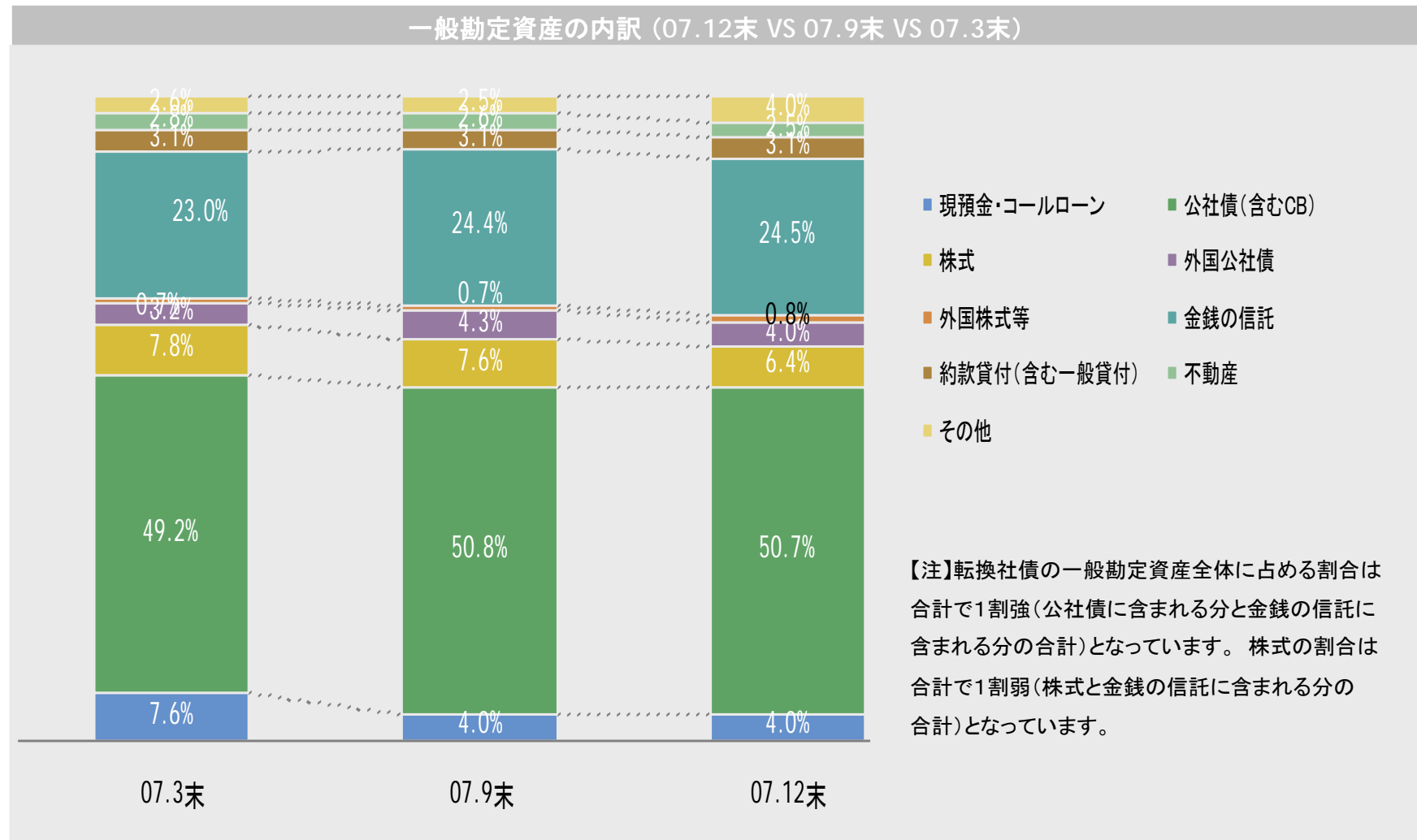
解約・失効率* (個人保険+個人年金保険)
＜第3四半期＞



*解約・失効率は、復活契約を失効と相殺せずに算出した数値です。

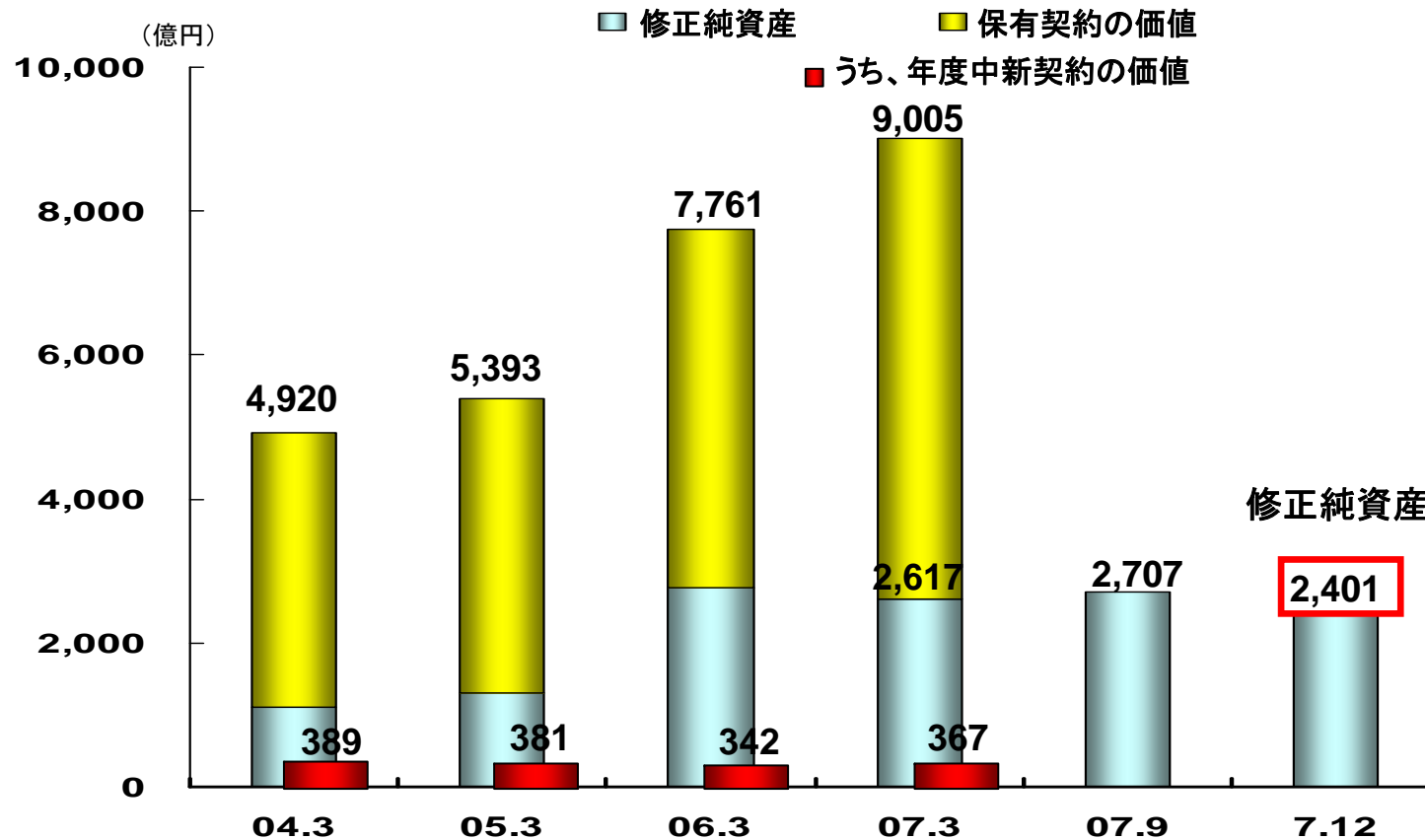
ソニー生命の業績(5)

一般勘定資産の内訳(07.12末 VS 07.9末 VS 07.3末)



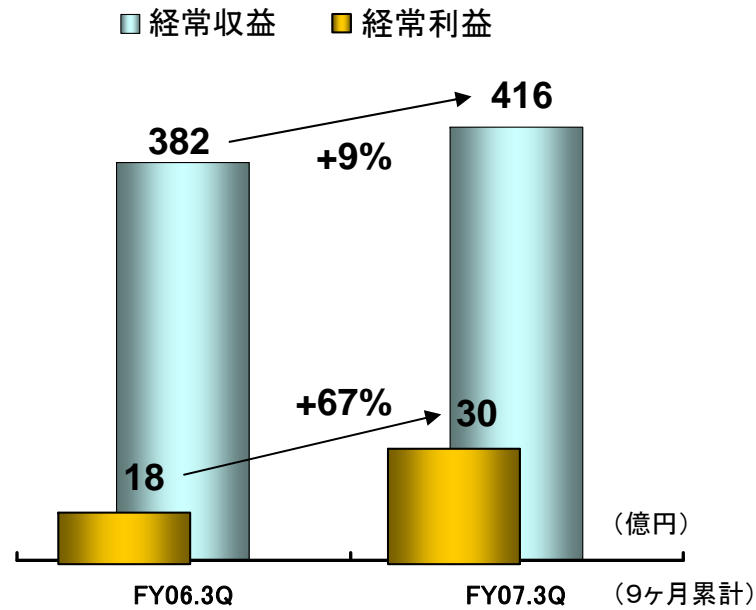
ソニー生命の業績(6)

エンベディッドバリュー(EV)



2003年度末、2004年度末、2005年度末、2006年度末のEVは、前提条件及び計算方法がそれぞれ異なります。EVの前提条件など詳細については、各プレスリリースをご覧ください。

ソニー損保 業績ハイライト



(億円)	FY06.3Q (9ヶ月累計)	FY07.3Q (9ヶ月累計)	前年同期比	
			増減額	増減率
経常収益	382	416	+34	+9%
保険引受収益	378	412	+33	+9%
資産運用収益	3	4	+0	+20%
経常費用	364	386	+22	+6%
保険引受費用	274	289	+15	+6%
資産運用費用	0	0	+0	+62%
営業費及び一般管理費	90	96	+6	+7%
経常利益	18	30	+12	+67%
四半期純利益	13	25	+12	+90%
純資産額	130	158	+28	+22%
総資産額	634	743	+109	+17%

【ソニー損保】

- ◆ 前年同期比 増収増益
- ◆ 主力の自動車保険の契約件数の増加により
正味収入保険料は411億円
- ◆ 損害率および事業費率の改善により
経常利益は30億円
- ◆ コンバインド・レシオは、0.5ポイント改善の77.4%

金額は億円未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

ソニー損保 主要業績指標

(単位: 億円)

	2006年度第3四半期 (9ヶ月累計)	2007年度第3四半期 (9ヶ月累計)	増減率
元受正味保険料	375	409	+9%
正味収入保険料	378	411	+9%
正味支払保険金	177	191	+8%
正味損害率	52.4%	52.3%	0.1pt改善
正味事業費率	25.5%	25.1%	0.4pt改善
コンバインド・レシオ	77.9%	77.4%	0.5pt改善
保有契約件数	91万件	100万件	+ 10%

※正味事業費率=保険引受に係る事業費÷正味収入保険料

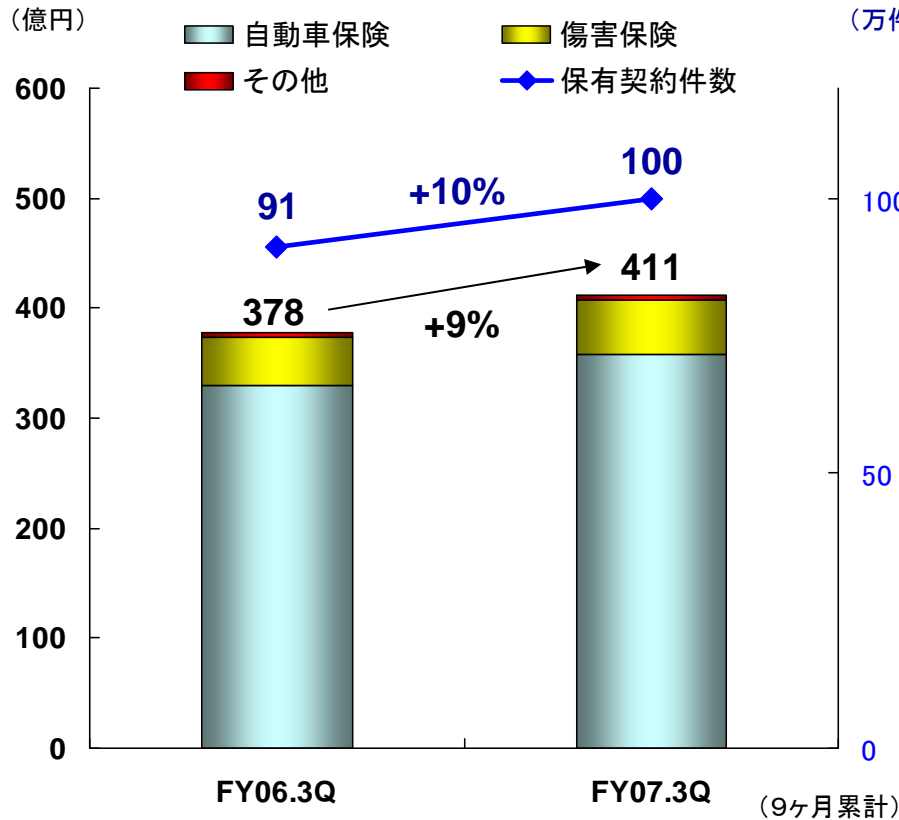
※正味損害率=(正味支払保険金+損害調査費)÷正味収入保険料

※保有契約件数は、自動車保険とガン重点医療保険の合算値。両方で正味収入保険料の99%を占める。

金額は億円未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

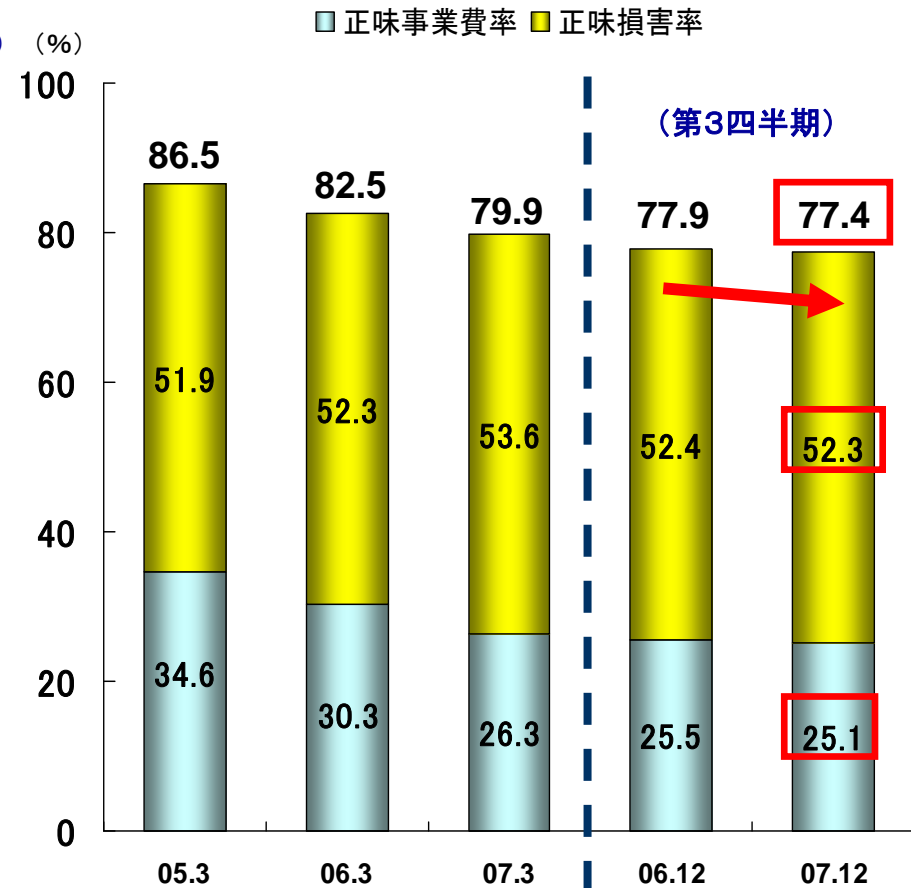
ソニー損保の業績(1)

正味収入保険料と保有契約件数



保有契約件数は、自動車保険とガン重点医療保険の合算値。両方で正味収入保険料の99%を占める。傷害保険のほとんどが、ガン重点医療保険である
金額は億円未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

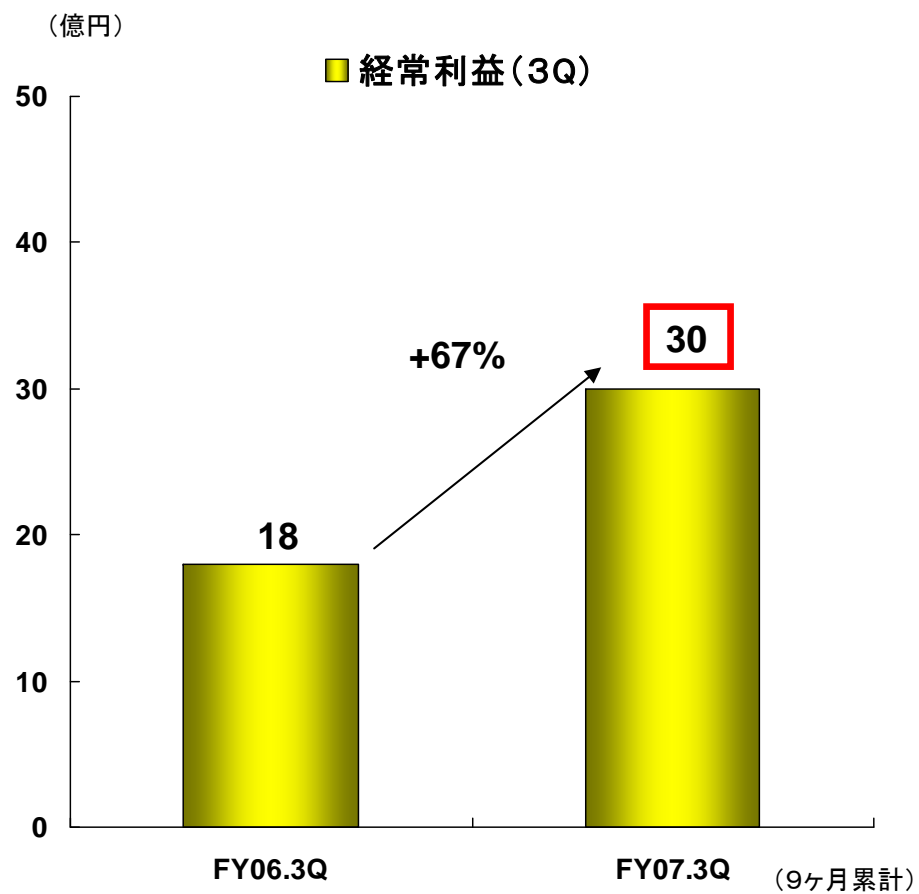
コンバインド・レシオの推移



正味事業費率 = 保険引受に係る事業費 ÷ 正味収入保険料
正味損害率 = (正味支払保険金 + 損害調査費) ÷ 正味収入保険料

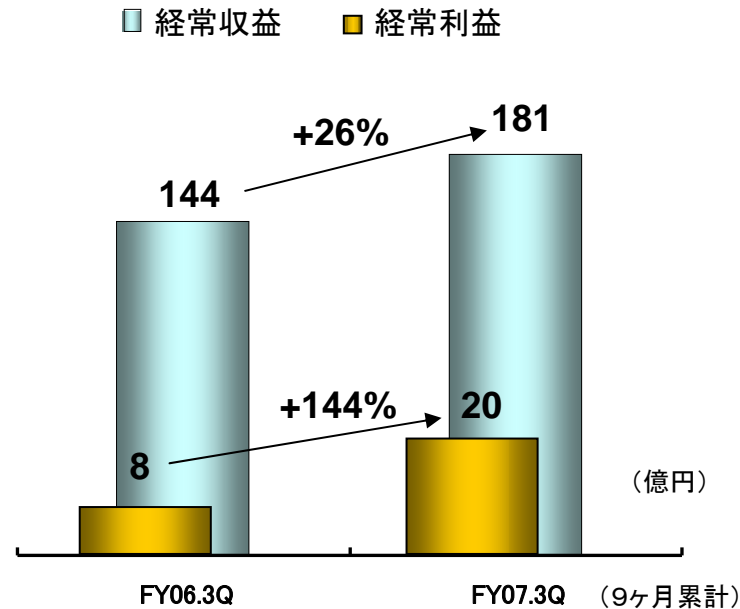
ソニー損保の業績(2)

経常利益



金額は億円未満切捨て

ソニー銀行 業績ハイライト(単体)



(億円)	FY06.3Q (9ヶ月累計)	FY07.3Q (9ヶ月累計)	前年同期比	
			増減	増減率
経常収益	144	181	+37	+26%
業務粗利益	67	79	+12	+19%
資金運用収支	31	38	+6	+21%
役務取引等収支	1	3	+1	+78%
その他業務収支	33	38	+4	+14%
営業経費	58	58	+0	+0%
経常利益	8	20	+12	+144%
四半期純利益	4	25	+21	+488%
有価証券残高	3,932	4,417	+484	+12%
貸出金残高	2,607	3,316	+709	+27%
預金残高	7,175	9,806	+2,630	+37%
預り資産残高	8,073	10,974	+2,901	+36%
純資産額	360	385	+25	+7%
総資産額	7,826	10,581	+2,755	+35%

【ソニー銀行】

- ◆ 前年同期比 増収増益
- ◆ 主に、住宅ローン残高の伸びによる貸出金利息の増加、証券関連手数料収入の増加などにより、資金運用収支と役務取引等収支が拡大。
- ◆ 四半期純利益は、税効果会計による法人税等調整額の計上もあり25億円
- ◆ 業務粗利益は資金運用収支38億円、役務取引等収支3億円、その他業務収支38億円の合計79億円。営業経費は横ばいの58億円。
- ◆ 預り資産残高は前年度末比2,485億円増加の1兆974億円

金額は億円未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

ソニー銀行 主要業績指標(単体)



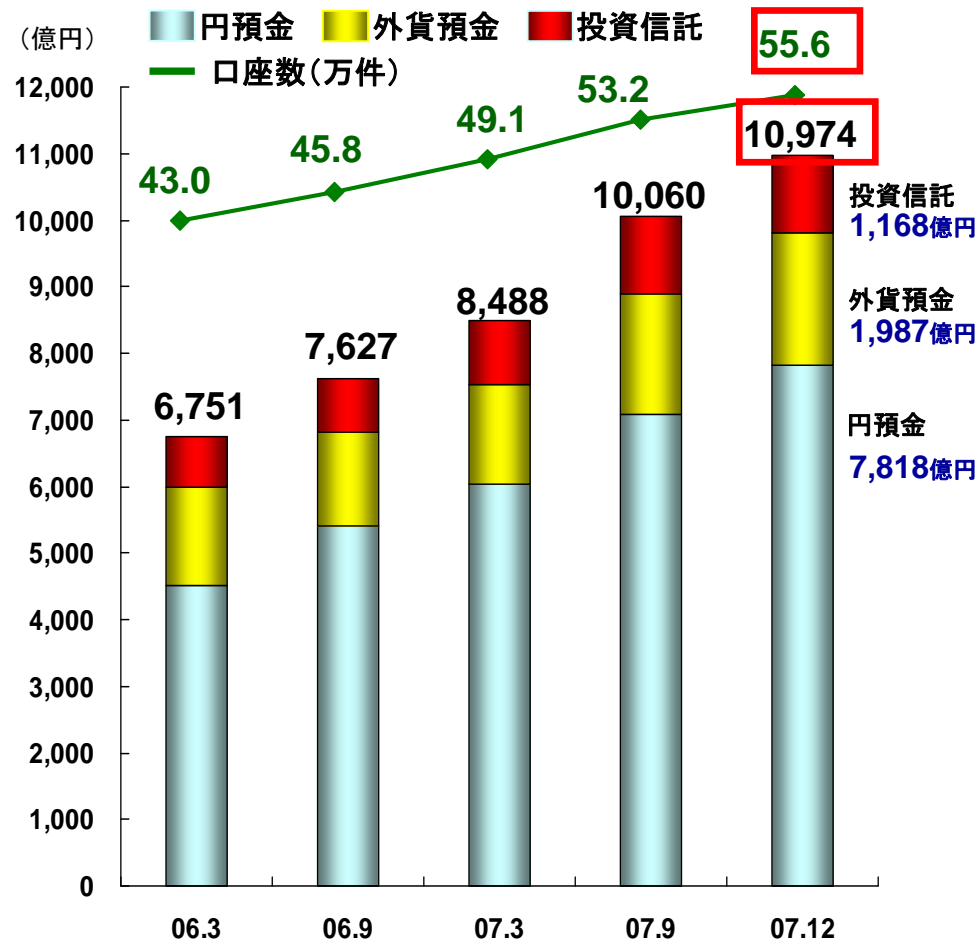
(単位:億円)

	2006年度第3四半期 (9ヶ月累計)	2007年度第3四半期 (9ヶ月累計)	増減率
業務粗利益	67	79	+ 19%
営業経費	58	58	+ 0%
業務純益	8	21	+ 141%
経常利益	8	20	+ 144%
預り資産残高	8,073	10,974	+ 36%
うち増加額(対前年度末比)	1,322	2,485	+ 88%
貸出金残高	2,607	3,316	+ 27%
うち増加額(対前年度末比)	212	469	+ 121%
自己資本比率(国内基準)	9.89%	10.79%	+ 0.9pt
口座数	47.1万件	55.6万件	+ 18%
うち増加数(対前年度末比)	4.1万件	6.5万件	+ 2.3万件

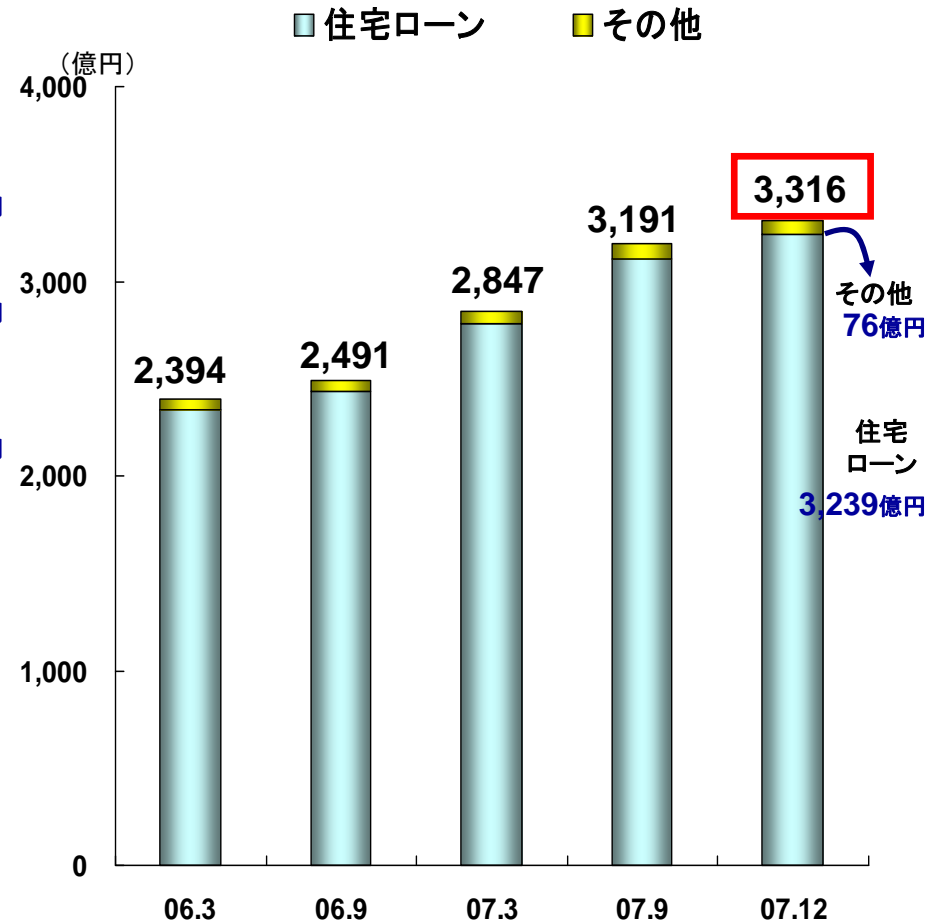
金額は億円未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

ソニー銀行の業績(1)

預り資産残高(預金+投資信託)及び口座数



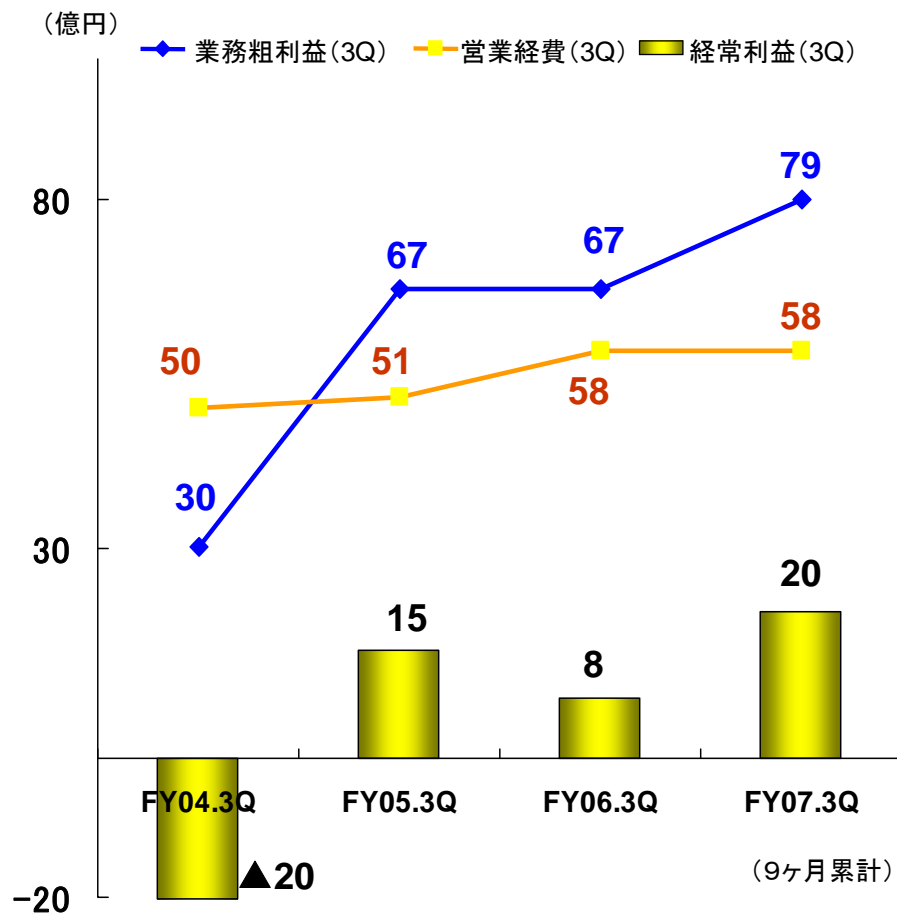
貸出金残高



金額は億円未満切捨て

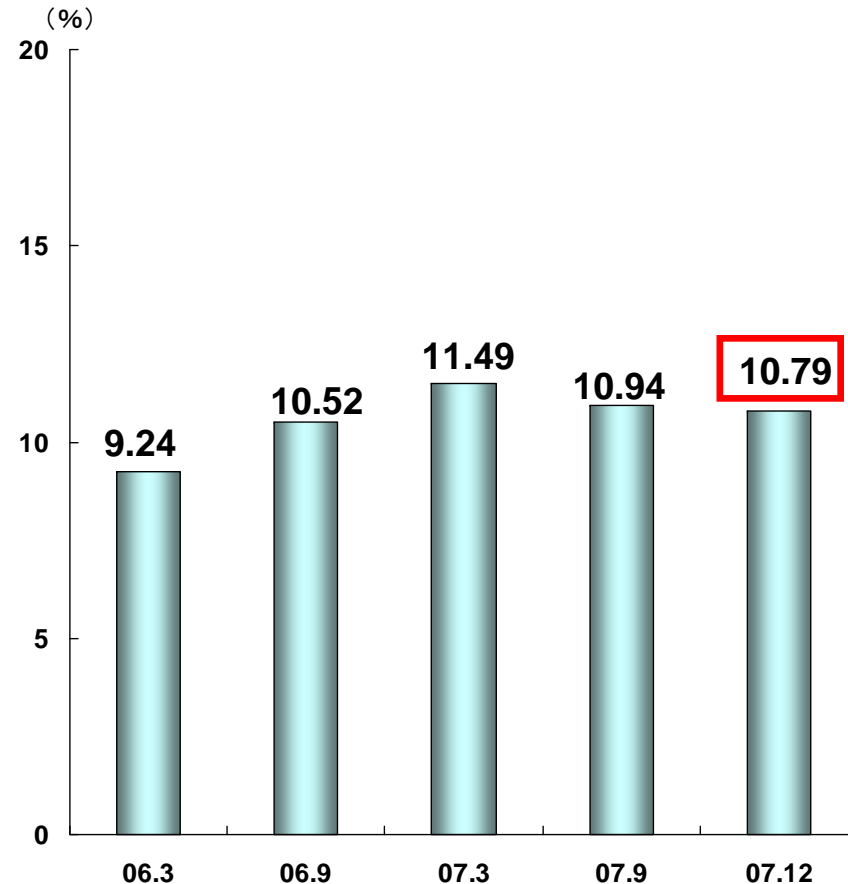
ソニー銀行の業績(2)

業務粗利益・営業経費・経常利益



金額は億円未満切捨て

自己資本比率(国内基準)



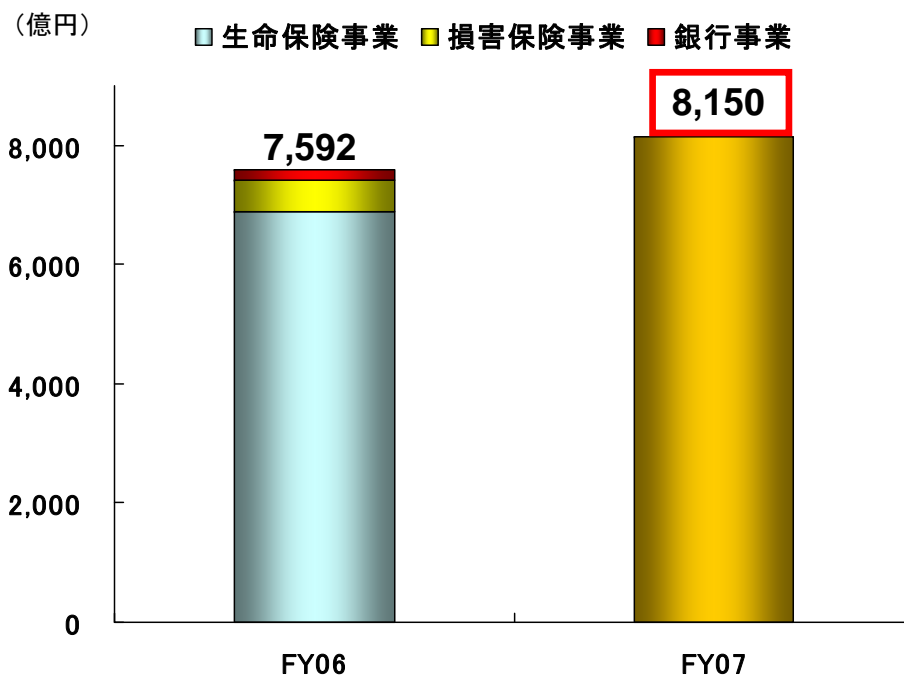
*2006年度末、2007年度中間期末および当四半期末は、「銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準を定める件」(平成18年金融庁告示第19号)所定の基準に基づき、算出しています。2006年度第3四半期末までは旧告示所定の基準により算出しております。

連結通期業績予想(FY07)

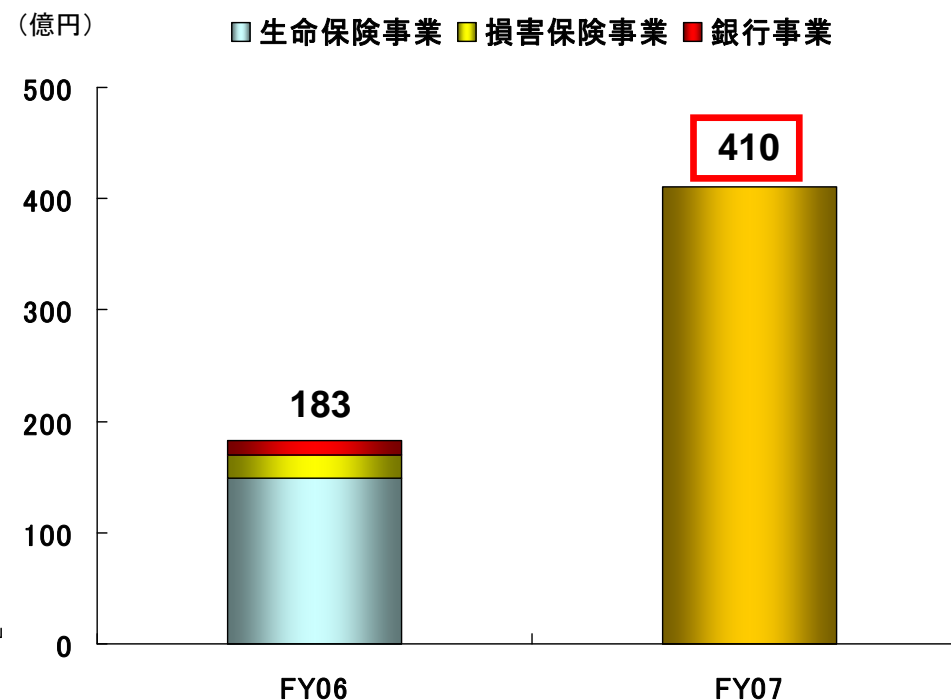
(単位:億円 / 金額は単位未満切捨て、増減率は四捨五入で表示)

	FY06	FY07(前回予想)	FY07(今次予想)	対前回予想比増減率	対前年比増減率
連結経常収益	7,592	8,090	8,150	+ 0.7%	+ 7.3%
連結経常利益	183	350	410	+ 17.1%	+ 123.4%
連結当期純利益	100	210	240	+ 14.3%	+ 139.5%

連結経常収益



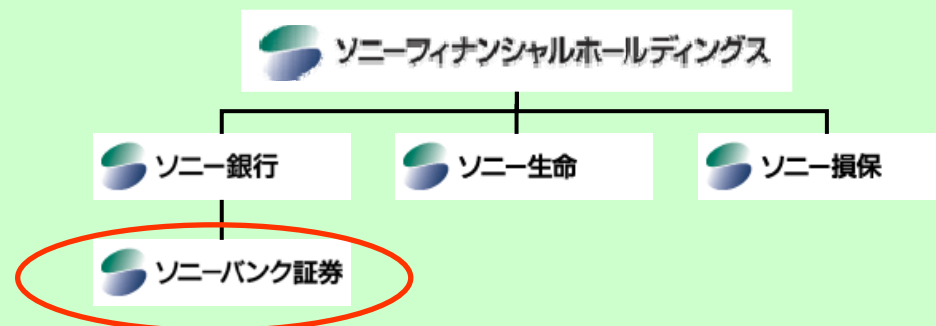
連結経常利益



新規事業の進捗状況

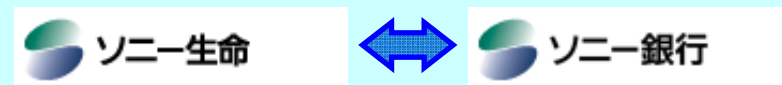
ソニーバンク証券

- 口座開設申し込み受付開始日 : 2007年10月1日
- 国内現物株式取引開始日 : 2007年10月15日
- 2007年12月末証券口座数 : 5,284件
- 2007年12月末預り資産残高 : 1,788百万円



ソニー生命におけるソニー銀行の銀行代理業に関する許認可取得

- 銀行代理業務取り扱い開始日 : 2008年1月16日
- 取り扱い商品・サービス



1. ライフプランナー:ソニー銀行の住宅ローンの商品説明および申込書の交付を行う
2. 「Life Planning SQUARE」(銀座ソニービル) : ソニー銀行の住宅ローンの取扱および口座開設業務

補足資料

ソニー(株)連結の金融分野との会計処理の比較 (日米会計基準における損益面の主な差異について)



*SFH=ソニーフィナンシャルホールディングス(株)

	ソニー(株)連結の金融分野 (米国会計基準準拠)	SFH* 連結 (日本の会計基準準拠)
新契約獲得費用の取扱い (主に生命保険事業)	新規保険契約の獲得に関連し、かつそれに応じて変動する費用のうち、保険契約期間中に回収できると認められるものについては繰り延べ。	発生年度の期間費用として処理。
責任準備金(保険契約債務)の算定方法 (主に生命保険事業)	米国会計基準に準拠した保険数理上の諸数値に基づく平準純保険料式により計算。	金融庁の認める方式により算定。契約者保護の観点を重視し、早期に責任準備金の積立を充実させる考え方にに基づき算定。
保有する転換社債の時価評価の取扱い (主に生命保険事業)	デリバティブを組込んだ「複合金融商品」として、公正価額変動(時価の変動額)をP/L(損益計算書)において損益計上。	公正価額変動をB/S(貸借対照表)の純資産の増減として計上。

(注1) 日米会計基準の差異に係る上記の項目は、2007年度第3四半期(9ヶ月累計)のSFHの連結経常利益において、大きな差異が生じると考えられるものです。

(注2) ソニー(株)連結の金融分野とSFH連結とでは、連結業績の対象範囲が以下の通り異なります。

- ・ソニー(株)連結の金融分野(参考): ソニー生命保険(株)、ソニー損害保険(株)、ソニー銀行(株)、(株)ソニーファイナンスインターナショナル等
- ・SFH連結: ソニー生命保険(株)、ソニー損害保険(株)、ソニー銀行(株)、ソニーバンク証券(株)、Sony Life Insurance (Philippines) Corporation

(注3) 保有する転換社債(CB)が株式に転換された場合、米国の会計処理では転換日の株式の市場価格で簿価を認識するのに対して、日本の会計処理ではCBの取得価額を転換後も簿価として引継ぎます。そのため、CBを転換して取得した株式について認識される、売却損益額(売却価額と簿価の差額)および減損額(時価と簿価の差額)が、結果的に異なります。



お問い合わせ先:

ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社 広報・IR部

TEL: 03-5785-1074

ソニー生命保険株式会社 広報部

TEL: 03-3475-8813

ソニー損害保険株式会社 広報部

TEL: 03-5744-0330

ソニー銀行株式会社 広報部

TEL: 03-6230-5903

※グループ連結の決算・業績などに関するお問合せはソニーフィナンシャルホールディングスへ、一般および報道関係からの方からの
お問合せで、個別各社の事業に関する場合は各社広報窓口までお願いいたします